

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：さくらんぼ鴻池

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	さくらんぼ鴻池の床面積は1階が99.03㎡2階が90.83㎡と基準よりも大きく、十分なスペースの中で活動が出来るようになっております。	利用日に何人の子どもたち、先生が来ているか知らない はい 22人 どちらともいえない 1人 わからない 2人	現状を維持します。
	2 職員の適切な配置	個々に応じた支援に必要な人数の配置を心がけております。	先生によって、だいぶん違うと感ずることがある。 はい 19人 どちらともいえない 4人 わからない 2人	今後も法令で必要とされる配置数を確保します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	お手洗いや階段等には手すりを設置しており、入口は段差をなくしております。	はい 19人 どちらともいえない 7人 わからない 2人	ご利用されている、お子さまに応じて可能な範囲でご対応出来ればと思っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃や消毒の徹底を図っております。	はい 23人 どちらともいえない 2人	今後も心地よい空間作りをしていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼に加え、週1回のミーティングを行い、支援の振り返りや確認を行っております。	/	今後も引き続き、支援の振り返り、改善を実施します。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価については、現在、実施の予定はありません。	/	必要に応じて実施・検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修や社内研修を定期的に行っています。	/	今後も研修の機会を設け、職員の資質の向上を目指します。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回の面談を行い、保護者様と利用児の現状とニーズを明確にし、それに対する具体策を立てております。	はい 23人 どちらともいえない 1人	今後も年2回の面談を行い、保護者様、お子さまのニーズや課題に寄り添った、個別支援計画作成を心がけていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	主に学習・生活を個別支援・社会性・コミュニケーションを集団活動とし計画作成しております。		今後も、お子様の特性に応じたプログラムを考えていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画における手立て、支援方法を具体的に記載しております。	はい 23人 どちらともいえない 2人	今後も具体的な取り組みを示した、支援計画の作成を心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	スタッフ一同が支援計画を周知し、定期的に支援内容の確認を行っています。	はい 23人 どちらともいえない 1人	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月間予定表を立案した上で、その日の朝礼で児童の下校時間等をスタッフ全体で把握し、個別・集団活動のプログラムの再確認を行っています。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短時間の中で個々の課題に取り組み、残された時間を使って、音楽活動やSSTを行っています。土曜日、長期休暇では調理実習や外出、季節のイベントを取り入れるなど楽しめるプログラムを取り入れています。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	週ごとにスタッフリーダーが代わり、責任を持って活動プログラムを考えて提案し、固定化しないように努めています。	はい 23人 どちらともいえない1人 いいえ 1人	
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々ミーティングを行い、子どもの様子などの情報共有や当日のプログラムについての確認と、子どもの担当や役割分担を決め、職員間で把握できるよう掲示板を使って視覚化しています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	申し送りノート・ケース記録に書き、次の日の朝礼時に支援の振り返りと情報の共有化を行っています。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	連絡帳の控えを残し、業務日誌・ケース記録・保護者様の相談記録等を記載し、支援の改善点に反映させています。		
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回、6ヶ月ごとのモニタリング及び個別支援計画の見直し、作成を行っています。			

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	現状では、相談支援事業所へ主に電話による情報提供や情報共有を行っています。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ受け入れを行っていません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ受け入れを行っていません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様からの許可を得て学校の支援計画書・評価を提供して頂いています。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	問合せがありましたら、情報提供ができるような体制を整えております。	今後の検討課題と致します。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員間で研修情報等を提供し、意欲的に参加できるよう体制を確保する努力をしています。	今後の検討課題と致します。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域交流につきましては、限られた指導時間の中で実施が難しいことからしております。	無理矢理交流させる必要もないと思う。体幹の日や土曜日に利用していないので交流はないと思う。 はい 3人 どちらともいえない 10人 わからない 8人	今後の検討課題と致します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	作品展を開催するにあたり、地域の他の放課後等デイサービス様などに、お声がけをさせて頂いています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書、運営規定を読み上げ、支援内容、利用負担等について丁寧な説明を行っております。	はい 21人 いいえ1人	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	年2回の面接時に評価を伝え、保護者様の利用時のニーズや課題を明確にし、支援計画に記載して説明させていただきます。	はい 22人	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者会で、ご家庭でも出来るブレイン体操の体験と効果を紹介させて頂きました。	特に必要としないのでOK はい3人 どちらともいえない7人 いいえ4人 わからない8人	月報では眼球運動のトレーニングに楽しんで出来る間違い探しや、迷路を掲載しております。今後ご家庭で簡単にできるものや、保護者向けペアレントトレーニングの研修の場を紹介していきたいと思っております。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳、LINEなどを通して、お子様の様子を伝えており、保護者様からの要望がある場合は相談記録に残し、課題分析を行っております。	はい 20人 どちらともいえない 2人	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	困りごとについて、その都度ご相談を受け必要な助言を行っております。	はい 20人 どちらともいえない 2人 いいえ 1人	より相談しやすい環境を整えて参ります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	6月に保護者会の開催をしました。本年は普段行っているブレイン体験と駄菓子屋さん体験を行った後、意見交換をして頂きました。	必要ない はい 1人 どちらともいえない 10人 いいえ 2人 わからない 4人	仕事をされている方や必要とされていない方が多く今後保護者様が足を運びやすいテーマを考えていきたいと思っております。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情相談窓口を設置し、事務所提供したサービス等についての苦情があった場合は申し立てが出来る体制にしております。	事前説明有り はい 20人 どちらともいえない 2人 わからない 1人	今後も迅速かつ適切な対応を心がけていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者様やお子さまと、しっかり向き合い関わるようにしております。	はい 21人 どちらともいえない 1人	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回の月報を発行し、行事予定等をお知らせしています。ブログでも活動内容が閲覧できます。	はい 20人 どちらともいえない 2人 わからない 1人	今後も継続して保護者様に対して、しっかり発信していきたいと思っております。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報漏洩に対して、細心の注意を払い管理しております。	はい 21人 どちらともいえない 1人	今後も秘密保持を徹底していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全てのマニュアルを作成しております。連絡帳の後ろに提示しており、保護者様には説明しております。また、感染症対応マニュアルにつきましても流行時に手紙を配布しております。	はい 24人	今後も職員間で周知し保護者様には毎年確認していきたいと思います。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回避難訓練を行っております。また、職員も救命講習を受講しております。	はい 22人 どちらともいえない1人 わからない1人	全員が実施できるよう今後も徹底していきたいです。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ガイドラインに沿って、虐待防止の研修を行っています。		今後も継続して行います。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。		現在、当事業所には該当される方のご利用はありません。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時や面談時に保護者様からの聞き取りや、アセスメントシートに記載して頂いています。調理実習時に再度ご確認させていただく場合もあります。		ご利用されるお子さまに応じて、ご対応させていただきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット作成後、会社全体で回覧できるようにしています。事業所内で事例をあげて、危険予知訓練として、4RKYT研修も行い、スタッフ間で共有し、改善策を話し合っています。		今後もヒヤリハットの共有をしていきます。